

愛知県議 鈴木まさと新聞

第 41 号 2020 年令和 2 年発行



毎日バイクで皆さんのところを回って、声を集め、それを議会で取り上げ、愛知県の施策に生かしていく。その単純な繰り返しが私の政治活動です。私のホームページに掲載した記事を要約した新聞です。ぜひホームページもご覧ください。コロナショックの今、ラインやテレワークであつめた声を以下に要約して紹介します。

V字回復か L字停滞か

企業は今、大量の無担保無利子資金を確保しています。(何もない銀行に返すだけの) L字停滞ではなくV字回復につなげるためには、企業の手持ち資金を投資に回したいと思わせる魅力的な政策を我々議員が立案する必要があります。

100 個種を撒いて、その一つから芽がでて成長産業として育てるために、種まき=政府の規制緩和で様々な分野への新規参入できるようにすることがV字回復には必要な政策だと思います。例えば、オンライン授業・テレワーク・各種行事の見直しなど

こんな声もあります。大学の講義に関して双方向通信の拡充をして、東京の大学に入学しても必要のある時だけ新幹線で東京に行き、あとは自宅で勉強できるようになったらいい。そのために、AI分野における第5世代移動通信システム(5G)を推進する必要があります。

私も「全国一斉に年度の開始を9月に」を応援します

ずるずると長引く休校に、千葉県の高3生が立ち上がりました！

《全国一斉に年度の開始を9月に》

感染の不安がある中日々戦って下さっている医療従事者の皆様、食品や物流に関わっている皆様、ありがとうございます。私達は千葉県の高3生です。

コロナウイルスの影響を受け、現在各地で休校措置が取られており、ゴールデンウィーク明けからの再開を目指し学生の大半が自宅での学習を求められています。



しかし、個人でできる学習には限度があります。

そして私達受験生は外部検定試験の中止、地域による勉強量の差などの問題がある中いつ終わるか分からない不安と戦いながら日々勉強をしています。

そこで私達は**新学期を9月開始に変更する**ということを提案します。

9月の時点でコロナウイルスが収束するかは分かりません。しかしゴールデンウィーク明けの再開よりも可能性が高いことは確かです。しかし、このまま1ヶ月、また1ヶ月と先送りになるよりも当事者である私たち学生の精神的不安は軽くなると考えています。ゴールデンウィーク明けから学校が開始したとしても第二波が起きてまたすぐに休校になるという可能性は低くありません。

そして9月から新学期にすることはコロナウイルス収束後

- ・世界中へ留学しやすくなる
- ・各国からの人材が日本へ来やすくなる
- ・受験期に雪やインフルエンザによる影響が無くなる

ことなどのメリットがあげられ、将来の日本にとって良い結果を招くと思います。

今しかできないことです。不安よりも一歩進んでみる勇気を私は応援します。鈴木まさと

テレワークやラインで集めた声を紹介します

新型コロナウイルスが大きな影響を与えるなか、特に4月から5月に多くのお宅に電話にて様々な愛知県政を含む行政要望の声を聞かせていただきました。それらの声が政策に生かせるようにこれから取り組んでいきます。以下は一例として皆さんから頂いた声を紹介합니다。

① 社員採用試験や企業面接会も全部延期されている。

最初9月入学ときいた時、考えたこともなく戸惑ったが、就職関係も延期の今、時期をそろえられるかもしれないし、今しかできない大きな改革だと思います。但し、性急に実施すると方針がぶれ、現場が大変なので今年は試験的にやってみて、来年からの本格実施がよいと思います。



写真・就職説明会 経済産業省ホームページより引用

② 飲食店経営は家賃負担が大きく減免はできないかという相談でした。家賃減免を大家さんに依頼できるように政府として具体的な支援をしてほしい。しかし、大家さんは多くの場合銀行から借金をしてビルを建てているので、銀行への返済猶予ができるように政府として具体的な支援をしてほしい。この資金循環を政府支援してもらわないと、結果的に飲食店の家賃減免はできず倒産するしか選択肢はなくなるとの声です。



写真・経済産業省ホームページより引用

③ 介護業界の疲弊がすごい。医療現場のベッドを開ける一助はこの業界。そこへの手当てがない。業界の売上に変化はないが、資材等の高騰で利益は下がる。介護報酬の見直しなどを検討してほしい。



④ 休業補償対象外の接骨院さんより
ただただ患者さんが減るばかりで打つ手が見当たらないと。

⑤ そもそも現在のカリキュラムを3月までに終わらせることはかなり難しい。どの授業が必要で、削減できるものはなにか。
その議論をしっかりとやってほしい

⑥ 9月入学検討に合わせて飛び級(とびきゅう)を導入するとよい。学年制などを採用している学校で、1学年以上を飛び越して上の学年等の学校に移ること。そうすると勉強が好きな子はどんどん進んでいけるようになる。

⑦ 10万円の申請の件、カードリーダーはみんながみんなもっているものなの？オンライン申請のハードルが高い。



⑧ 6月以降のイベントを、どのタイミングで開催可否していいかわからなくて困っている。
非常事態宣言が解除されても、開催してよいのか懸念している。

⑨ コロナ対策後に、紙幣増刷によるインフレ懸念とともに増税懸念がある。



pixta.jp - 3165778

⑩ コロナを機会に外国に依存しすぎた産業分野の国内回帰を加速させるべき。

⑪ 飲食店 どのタイミングで通常営業にするか迷っている。
緊急事態宣言解除後に、店を開けてもお客が戻ってくる気がしない。昼のテイクアウト・夜の通常営業はさすがに体力的にきつい。
ここから先が本当に厳しい。

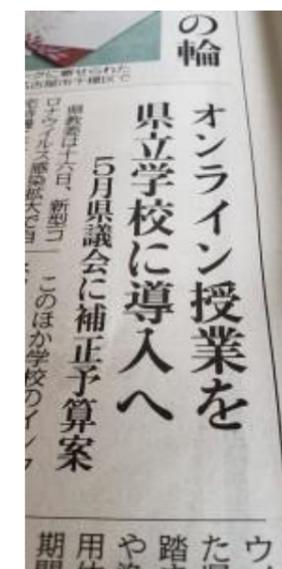


オンライン授業を県立高校に導入を

愛知県教育委員会は県立高校と特別支援学校の児童生徒向けに、オンラインによる双方向授業を導入する計画を発表した。
今回の計画では、県立高にタブレット端末とインターネット接続に必要なモバイルルーターを一校ごとに40台ずつ、計5600台を整備など

中日新聞 4/17 より引用

色々なすでに始められているオンライン授業の実例をみると、
まずはインターネット環境整備や接続トラブルへの対応が必要です。
例えば、
見ている途中で画像がとまってしまった
音声が悪い
画面の画質が悪いなど
が大きなポイントになると思います。



広がる「新型コロナ」ここで、いろんなエピソードを紹介します

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号乗客乗員を受け入れた藤田医科大学岡崎医療センターに、イチゴ約400個と米300キロ、ミニトマト3キロを贈呈した
岡崎の若手農家グループ



「せっかく岡崎に来るなら何か協力をしたい
おいしいものを食べて元気になってもらえたら
と応援の意味を込めて贈呈」と農家オーナーさん
写真は、テレビ局が、そのいちご農家を取材に来ているところです。

あるマラソン大会に出場するはずだったお二人さん
エントリーした大会が中止になってしまっただけ残念無念！
しかし、「ファイト！」と、
岡崎公園周辺をクルクルマラソンしてます。
すると、友達が旗を持って応援に来てくれました。コロナショック
下でのささやかな楽しみ方を紹介させていただきました。



「鈴木まさと」で検索できるホームページ ぜひご覧ください。

ご意見・ご要望は、鈴木まさと事務所まで
岡崎市滝町河原ケ 13-3

ファックス 0564-46-2685 メール masatosuzuki@m3.catvmics.ne.jp